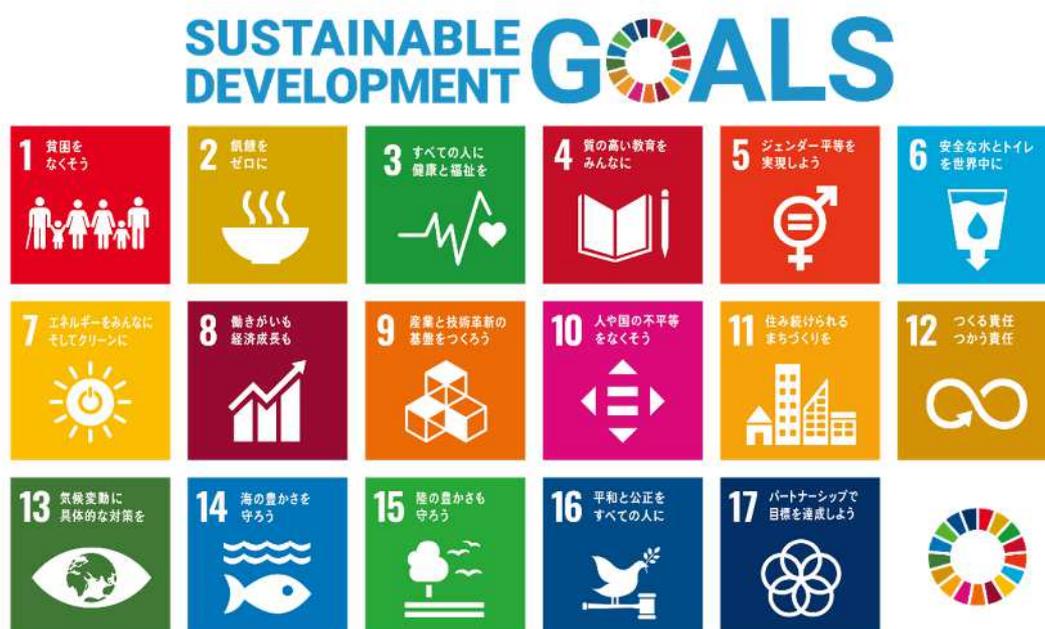


# SDGsに関するアンケート調査結果 （インターネットアンケート）



江戸川区は、「ともに生きるまち」を目指して  
SDGsに取り組んでいます

令和4年（2022年）1月

江戸川区

## 1 調査の目的

本調査は、区民のSDGsに関する認知度および取り組んでいる・取り組みたいSDGsの行動を把握し、区のSDGs達成に向けた取り組みの基礎資料とするために実施した。

## 2 調査期間

令和3年12月6日(月)から令和3年12月26日(日)まで

## 3 調査方法

区公式ホームページのメールフォームを活用したインターネットアンケート

## 4 回答者

119人(アンケートページにアクセスし、メールフォームから回答した区民)

## 5 調査内容

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| (1) SDGsの認知度     | (2) SDGsを知ったきっかけ |
| (3) SDGs推進月間について | (4) 現在取り組んでいる行動  |
| (5) 今後取り組みたい行動   |                  |

## 6 調査結果(概要)

### (1) SDGsの認知度

- ・全体では104人(87%)が知っており、5人(4%)が全く知らなかった。
- ・年代別において、20~60代では「知っている」が概ね上記と同様の調査結果であった。
- ・70歳以上では2人(50%)が知っており、1人(25%)が全く知らなかった。

### (2) SDGsを知ったきっかけ

仕事を通じて知った人が40%と最も多く、次いでメディア(36%)、区の広報(7%)と続いた。

### (3) SDGs推進月間について

- ・73人(61%)が知っており、46人(39%)が知らなかった。
- ・「推進月間の告知を見た」が73人と一番多く、次いで「区内施設等で装飾物を見た」が47人だった。

### (4) 現在取り組んでいる行動

「【14】マイバッグ・マイボトルを持ち歩く」が88人と最も多く、「【7】見ていないテレビは消す」が80人、「【6】歯磨きやシャワーの水を小まめに止める」が77人であった。傾向として、日々継続できる身近な行動に取り組まれている。

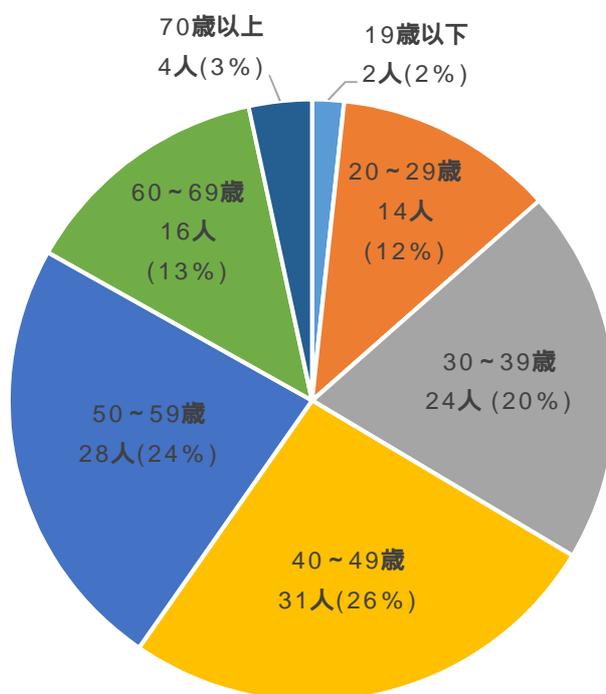
### (5) 今後取り組みたい行動

「【4】読まなくなった本を必要な人に届ける」39人、「【3】十分な睡眠をとる」と「【16】地域コミュニティや絆を広げ、安全安心なまちづくりに参加する」が34人だった。「現在取り組んでいる行動」と比較すると、1から17まで満遍なく取り組みたい傾向となっている。

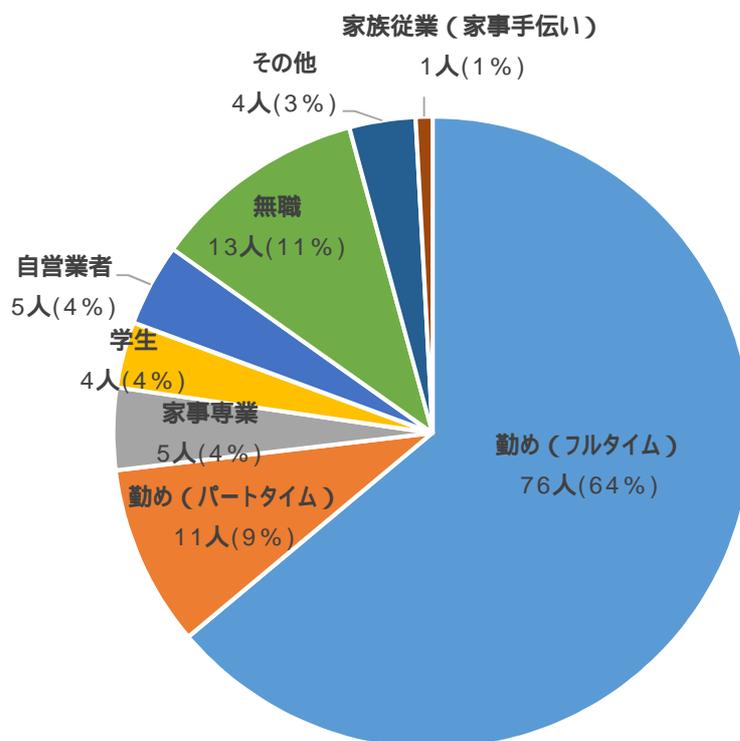
## SDGsに関するアンケート調査結果【詳細】

### 1. 回答者の属性

#### (1) 年齢



#### (2) 職業



### (3) 居住地域

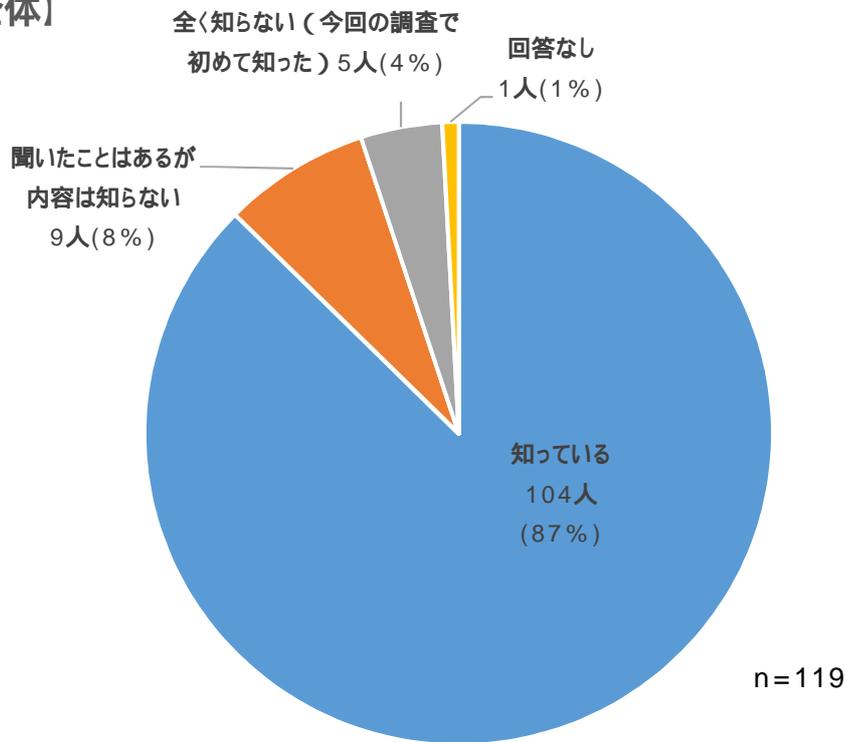


## 2. 調査結果

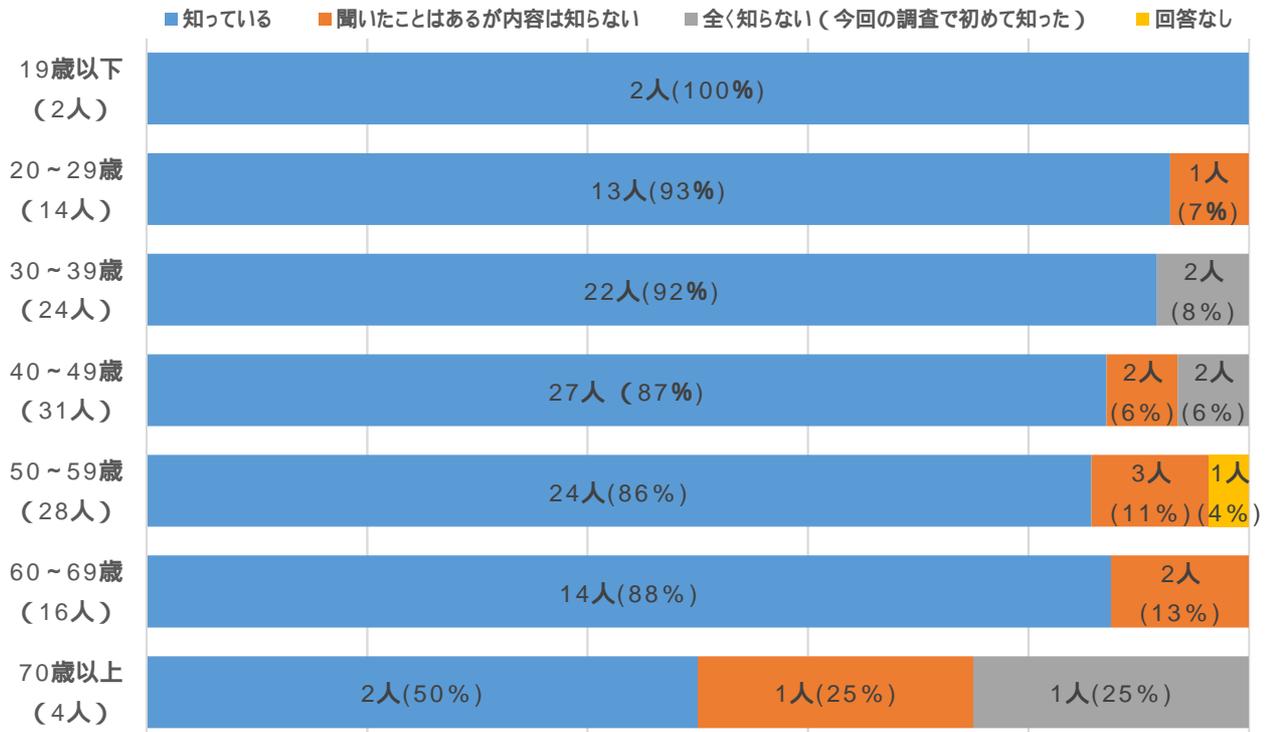
### (1) SDGsを知っていますか。

104人(87%)が知っており、5人(4%)が全く知らなかった。

#### 【全体】

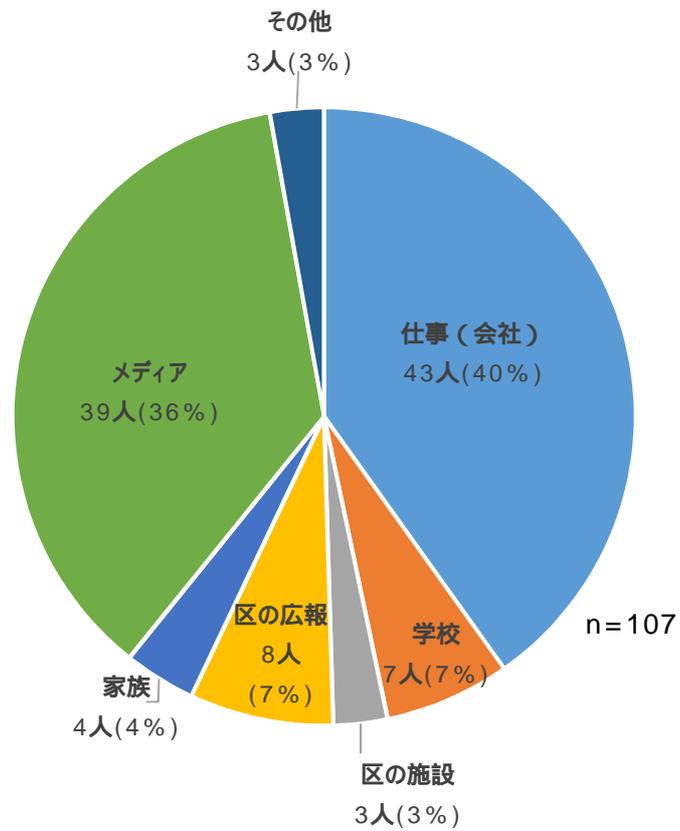


#### 【年代別】



## (2) SDGsをどこで知りましたか。

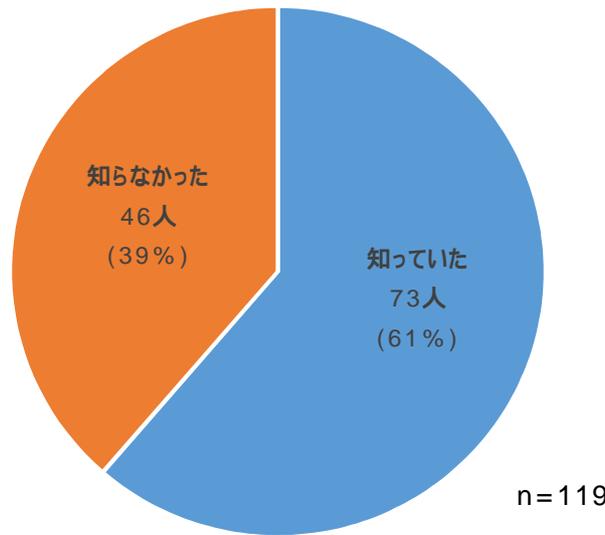
SDGsを知っている人は、仕事を通じて知った人が最も多かった。



「その他」の内訳

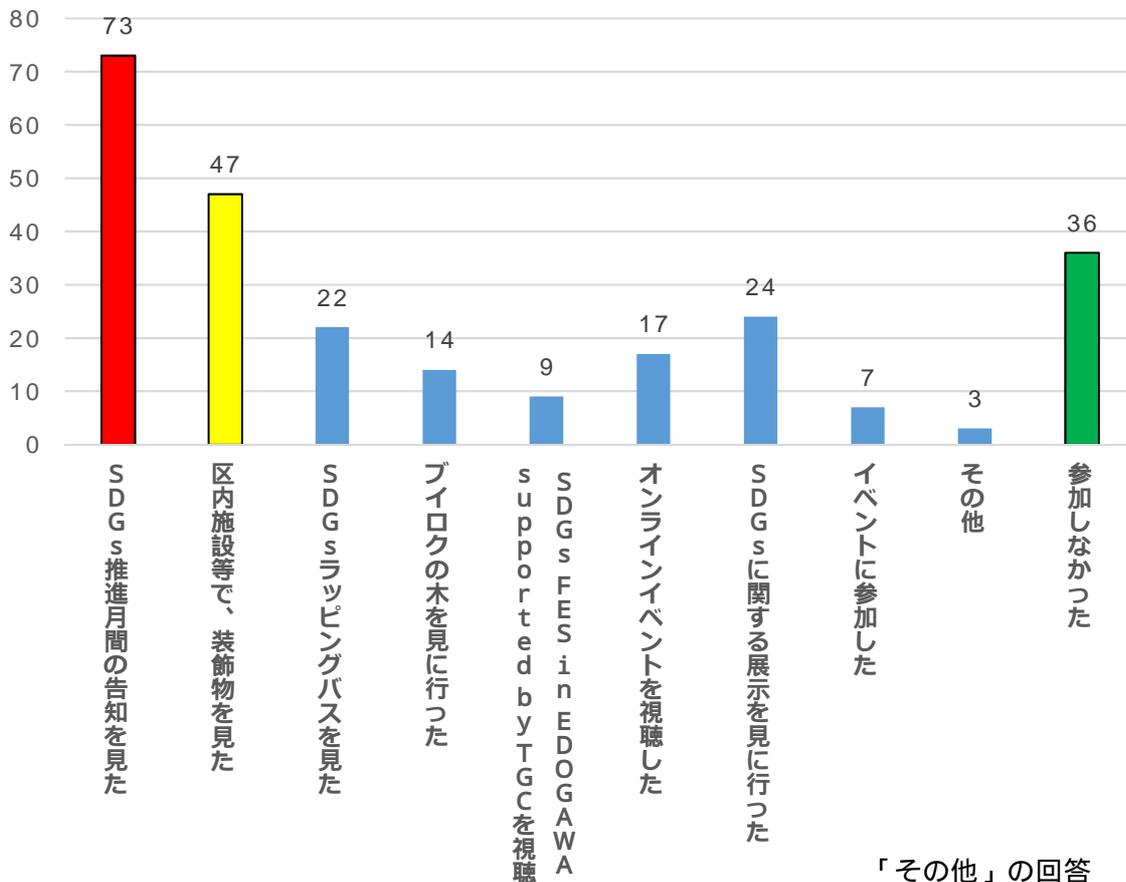
えどがわエコセンターのイベント・講座、食品宅配を通じて

(3) 令和3年9月25日~11月20日まで「SDGsを知る・理解する」ことを目的とした推進月間「SDGs Month in EDOGAWA」が開催されていたことを知っていましたか？



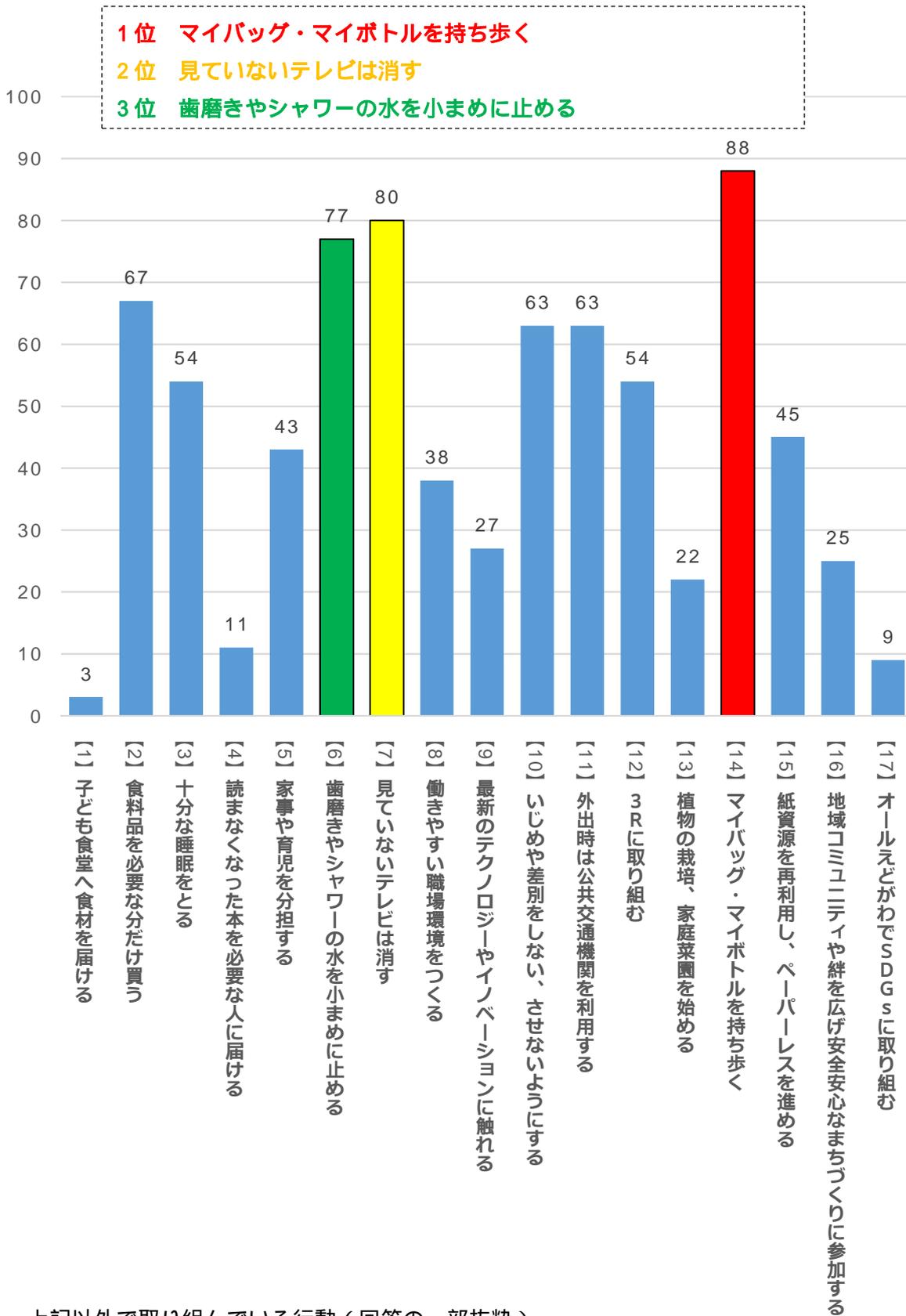
SDGs推進月間についてお聞きします（複数回答可）

- 1位 SDGs推進月間の告知を見た（ポスター、チラシ、広報えどがわ等）
- 2位 区内施設等で、装飾物を見た（「SDGsって何？」の懸垂幕、船堀駅前のフラッグ等）
- 3位 参加しなかった



「その他」の回答  
 期間外のイベントに参加、  
 ホームページから情報を見た、  
 場所・期間・内容を知らなかった

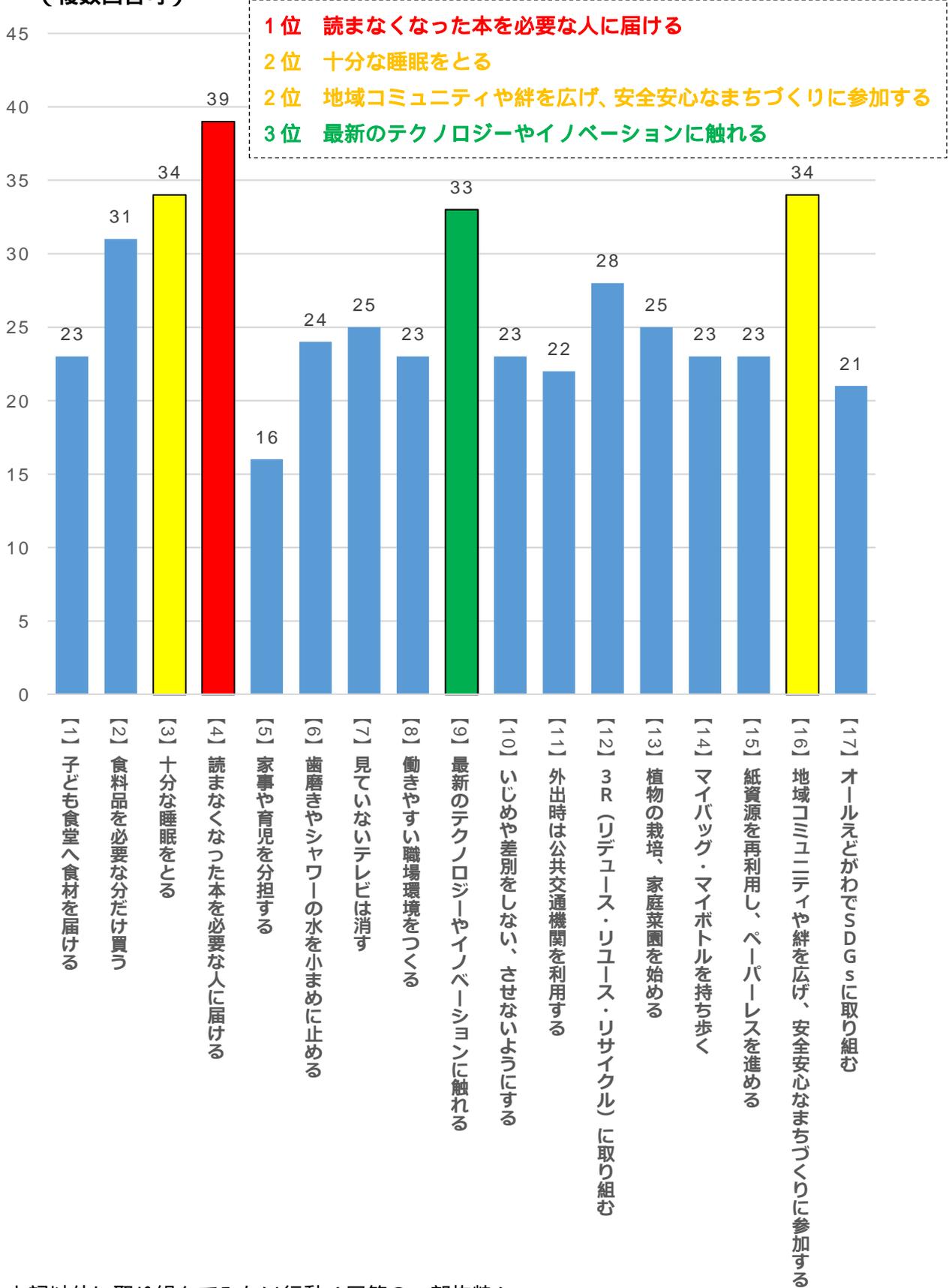
(4) あなたがご自身の生活の中で現在取り組んでいることをお答えください。  
(複数回答可)



上記以外で取り組んでいる行動(回答の一部抜粋)  
 食品ロス削減行動(買い物時の手前取り、食べきれぬ量のみ調理、フードバンクに寄付)  
 ごみの分別・削減・リサイクル、公共交通機関の利用、健康維持管理(健康診断の受診、運動)、  
 ヘアドネーション、差別や偏見をなくす 等

(5) 今後取り組んでみたいことをお答えください。

(複数回答可)



上記以外に取り組んでみたい行動 (回答の一部抜粋)

環境にやさしい商品を使用し地球の環境と自然を守る、再生可能エネルギーの活用、

外国人や障がい者などマイノリティの人々との交流、ヘアドネーション、

ジェンダーや人権の平等を守る (家事分担・女性蔑視や差別やいじめの撲滅・LGBTの理解 等) 等